

3. ベルギー (Belgium) ②

鈴木 絵美留

前号では、ベルギーの履物ミュージアム『Shoes or No Shoes?』（以下、『SONS』。）の展示品はモダンアート（現代アート）と世界中の様々な国や民族の履物たちの民族コレクションが軸になっていることを紹介しました。およそ1200点にも及ぶ靴に関連するモダンアートのコレクションはピエール・ボガーツ氏、ヴェール・スウェンタース氏夫妻が収集したものです。ヴェール・スウェンタース氏の父親がアントワープの靴職人だったことから、靴業界に入ることになったそうです。夫妻はアーティストに1足の靴を依頼することを思いつき、1990年代初頭に「あなたがアートを生み出す時に履く靴を送ってください」と1000通以上の手紙を世界中のアーティストに送ったそうです。アーティストは頼まれた通りに仕事の時に着用している絵の具や粘土などが飛び散っている自分の靴を送ってきたのですが、その中でもたくさんの人たちが自発的に、自分の意思で靴をアートとして昇華したものを送ってきたようです。

もちろん日本のアーティストたちにも手紙が送られています。LEDのデジタルカウンターで数字を刻む作品で有名な現代美術家の



宮島達男氏の作品 『SONS』のホームページより

“宮島達男”氏の靴も収蔵されています。（自身の手で靴に数字を書き込んでいる。）

フランスの彫刻家・画家・現代美術家“アルマン”、ドイツの画家“バーゼリッツ”、ベルギーの芸術家“パナマレンコ”、イタリアの画家“ピストレット”やドイツの抽象画家“リヒター”（日本でも特別展などが開かれるので、名前を知っている方も多いと思います）、アメリカのポップアートの芸術家“ウェッセルマン”など名だたるアーティストたちから好意的な反応をもらい、夫妻のモダンアートコレクションが形成されていきました。



リヒターの作品 『SONS』のホームページより

これらのモダンアートコレクションは『SONS』でしか見られない展示の一つです。このコレクションがまさに前号でも言及したミュージアム名の由来になっている、「Shoes or No Shoes?（靴か、靴ではないか?）」と問うているわけです。

それは靴なのか、もはや靴ではない作品なのか？それらの判断は来館者一人一人に委ねられているのです。

ピエール・ボガーツ氏とヴェール・スウェンタース氏夫妻は、靴に関する詩などの文章や、絵画やイラストも精力的に収集されてい

ます。ミュージアムのホームページからそれら収集された作品を見ることができるので興味のある方は是非閲覧してみてください。靴に関する可愛いイラストや漫画は見るだけでも楽しいです。



『SONS』のホームページより

また、有名人の靴では、マリリンモンローが着用した赤いハイヒールや1996年～1998年のワールドツアーの時にマイケルジャクソンが履いていた靴もあります。



マイケルジャクソンがツアーで履いた靴
『SONS』のホームページより

さらに、スニーカーのコレクションも300足以上あり、日本でも大変好評だった映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」シリーズ



バック・トゥ・ザ・フューチャーの靴
『SONS』のホームページより

ズのPART 2の中で主人公が履いていた、自動で靴紐が締まる画期的なスニーカーも収蔵されています。

犬が噛んだ靴のコレクションもあるそう。知れば知るほど個性的で『SONS』に是非訪れてみたくくなりますね。＜次回へ続く＞

2023年時点で『SONS』の基本開館時間が週に2日4時間ですので、日本から訪れる際はスケジュール調整が必要かもしれません。ただ事前に連絡をすれば、その他の日時での対応も可能だそうです。下記記載のEメールへお問い合わせください。(英語可・日本語不可)

ベルギーへ訪問される際は一度訪れてみてください。是非、訪問された際は感想を聞かせてくださいね。

『Shoes or No Shoes?』

開館時間：火曜日、木曜日 午後1時30分から午後5時30分

土曜日は15名～見学リクエストが可能

その他の曜日・時間の見学は要相談、祝日は休館

夏休み期間の長期休館あり

入場料：大人：15€/学生（12歳～25歳）、65歳以上：8€/小人6歳以上：5€/6歳未満：2.5€

団体：25名：8€

ガイド：50€/15名（火曜日と木曜日）、

75€/15名（その他の曜日）

音声ガイド（英語・フランス語・オランダ語）：1€

住所：Vandevordeweg2, 9770

Kruishoutem, Belgium

電話：+32-9-277-90-80（開館時間内）

Eメール：

myriam.delfosse@shoesornoshoes.com

ホームページ：www.shoesornoshoes.com（英語・フランス語・オランダ語）